市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議会報

NO. 20
平成21年
(2009)

環境ひらかた

1月号

市民の力で地元を活性化しよう！

『くずは駅前広場を面白くするワークショップ』スタート

せっかくの広い歩行者空間を有するくずは駅前広場を、地域コミュニティ活性化、交流促進に活かすよう、広場の多目的利用を考える第１回ワークショップが、11月16日に開催されました。参加者からは、「外国に行っていて感じたことは、広場で普通にパフォーマンスをやっている。樟葉でもやれるのではないか」「地域自治会とうまく連携して、くずは全体が活性化すればいいと思う」など、多くの意見が出されました。また、メインロータリーへの一般車混入の弊害についても議論されました。第２回以降で、すぐに実現可能なもの、長期課題になるものにわけて、課題は何か、それを克服するにはどうするかなど、検討を進めていきます。このワークショップの一環として、2009年3月15日に予定されている、「くずは駅前を花いっぱいにするイベント」も準備が着々と進んでいます。くずは地域を中心として、校区コミュニティ、小学校、PTAなど26団体が、花育てなどに取り組んでいます。また、この活動に対し、大阪府枚方土木事務所、京阪園芸(株)から大変なご支援をいただいています。このワークショップを通じて、地域コミュニティの交流と、行政、企業との連携が広がりつつあると実感しています。

【くずは駅前を面白くする検討会議】
運営：ひらかた環境ネットワーク会議
指導：松村暢彦 大阪大学大学院准教授
支援：(社)近畿建設協会
協力：枚方市、大阪府枚方土木事務所、京阪電気鉄道(株)、京阪バス(株)、関西電力(株)、京阪園芸(株)

目　次

第6回バス！のってｽﾀﾝﾌﾟﾗﾘｰ	2
枚方なぎさ高校環境出前授業	4
ひらかたｴｺﾌｫｰﾗﾑ2009のご案内	5
部会の活動	6
お知らせコーナー	7
団体紹介（ﾈｯﾂﾄﾖﾀ新大阪）	8

第６回バス！のってスタンプラリー ～枚方東部：穂谷を満喫～

10月25日（土）、楽しみながら公共交通に親しんでもらい、併せて里山の自然を満喫してもらうため、枚方東部を舞台に第６回バス！のってスタンプラリーを開催しました。

スタンプポイント

穂谷地区内
- ①重村酒造醸
- ②黒豆枝豆とねぎ畑
- ③サツマ芋畑
- ④堆肥場

穂谷地区以外の施設や公園
- ⑤北河内府民センター3階 Ama.てらす
- ⑥伝王仁墓
- ⑦正俊寺
- ⑧旧田中家鋳物民俗資料館
- ⑨地蔵池オアシス共園
- ⑩春日神社

このイベントは、参加者がバスタウンマップを活用し、路線バスで指定されたスタンプポイントを回り、得たポイントに応じて、景品をお渡しするものです。

スタンプポイントは、穂谷地区内と穂谷地区以外の施設や公園、計10箇所を設定し、先ずは穂谷以外の施設を回って頂き、その後穂谷で豊かな自然を活かした体験学習等に参加して貰うという趣向で行いました。

当日は、幸運なことに天気が危ぶまれる長雨の中の唯一の晴天日となり、参加者は126人。枚方市長のご挨拶をいただいた後、大阪大学 松村准教授から買い物と交通に関する５分間講義をしてもらいました。大根の写真パネルを使って、日頃からの買い物と交通と環境が結びついていることをわかりやすく説明してくれました。

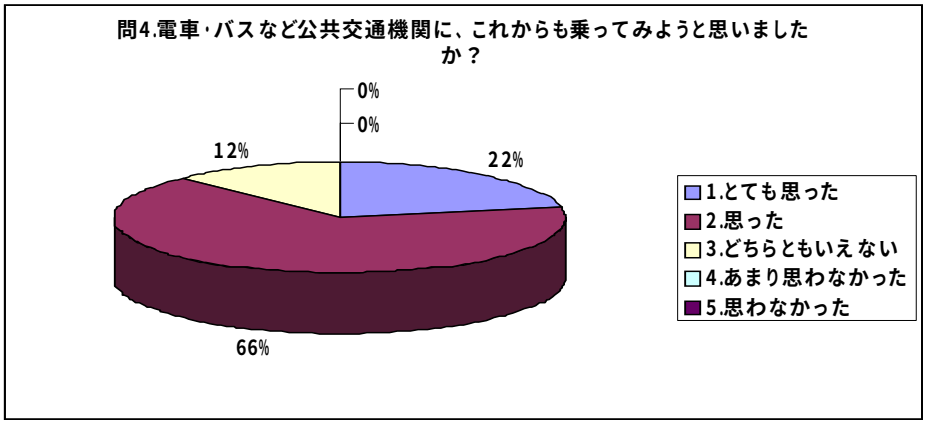
ゲームの説明の後、いよいよ出発！

単にスタンプを集めるだけではなく、ボランティアガイドの方々の歴史や面白い話を伺うと、楽しさ倍増！参加者同士のコミュニケーションもあり、和気藹々とした中で楽しんでいただけたようです。

イベントを行うためには、多くの行政、交通事業者をはじめ、ひらかた観光ボランティアガイドなど様々な方にご協力いただき、成功裡に終わったのも連携の賜物といえます。枚方の個性的な地域資源は、バスや鉄道でネットワーク化されています。たしかに場所によっては本数が少ないところや乗り換えが必要で不便さを感じるかもしれませんが、これも含めて魅力だと思ってみませんか？今の時代、便利であることが唯一の価値のように語られることが多いです。でも不便さの裏返しは、ゆったりとした時間や人とのコミュニケーションのチャンスでもあります。

バス停でゆっくり待って、辺りを眺めていると、「幸せだなー」（加山雄三ではないですが・・）と思ってしまいます。そんな時間を生活に取り戻す意味でもスタンプラリーをとらえてもらえたらうれしいと思います。

参加者アンケート結果より



～ イベント当日の様子 ～

1）枚方市長のご挨拶

2）松村准教授 「買い物と交通のお話」

3）バス乗車のご案内

4）スタンプポイント（春日神社）

5）スタンプポイント（Ama.てらす）

6）スタンプポイント（重村酒造醸）

試飲もできました

7）スタンプポイント（穂谷サツマイモ収穫）

収穫は任意（要費用）

8）穂谷名所コスモス畑も近隣でした

枚方なぎさ高校で環境出前授業実施

環境教育サポート部会は、毎年恒例となった大阪府立枚方なぎさ高校環境出前授業を実施しました。今年で４回目となった当校での環境出前授業は、12月18日（木）午後1時20分から約１時間、１年生全員を対象に13テーマで実施しました。今年は団体会員である枚方ＬＲＴ推進会によるＬＲＴ（次世代型路面電車）のお話や、森林インストラクターの野村穣氏による校内の樹木観察など、新たなテーマを加えた授業内容となりました。様々な授業内容に生徒は熱心に聞き入っていました。

テーマ	講師名（所属など） ※敬省略
淀川と環境	瀬野卓男（まちづくり部会）
企業の環境への取り組み	永田正純 （環境教育サポート部会、京セラミタ㈱）
昔の暮らし ～戦時中の暮らしと原爆体験～	橋田悟（環境教育サポート部会）
エネルギー・省エネ活動	矢野修（環境教育サポート部会）
安心して食べるには･･･	沼本啓子（教育サポート部会）
40年後のわたしたちの生活 ～低炭素社会に向けて～	田中晃（環境教育サポート部会）
環境とデザイン	谷口興紀 （環境教育サポート部会、大阪産業大学）
環境実験を通じて未来の地球を考えよう ～減らそう！CO2、増やそう！新エネ～	小柳佳弘（教育サポート部会） 上澤留吉（教育サポート部会） 高橋英二（教育サポート部会、関西電力㈱）
自転車から見える環境問題と解決策	河上勲（枚方エコサイクル）
人と環境にやさしいＬＲＴ （次世代型路面電車）の導入	山本直弘（枚方ＬＲＴ推進会理事）
ごみの現状と減量化の取り組み ～スマートライフ行動の推進～	畠中崇行（減量業務室）
校内の樹木観察	野村穣（森林インストラクター）
水の循環について	野田智保、土井原信治、阪口広大（下水道総務課） 宮原茂利、江見美紀、平田益久（水道局） 稲井洋介（環境公害課）

ひらかたエコフォーラム2009のご案内

～取り組もう環境保全！発揮しよう“地域力”！！～

ネー、きいて聞いて！

皆さんはご存知ですか？
毎年開かれていた「環境フェア」が3年前「エコフォーラム」に衣替えして開催されるようになったことを！
「へー、そうなんや！」と今知った人もおられるのではないでしょうか。
環境への取り組みの広がりをめざし、そのために地域と共に考えようとの思いで、校区コミュニティ協議会のご協力もいただきながら開催してきました。
開催したことで「地域で環境の取り組みが飛躍的に前進した」という状況には、残念ながらまだまだなっていません。
今回のフォーラムに一人でも多くの人にご参加いただき、地域の環境への取り組みに弾みがつくことを願っています。

２００９年２月７日（土）

午前10時20分～午後4時30分
メセナひらかた会館2階多目的ホール

【環境表彰および取り組み発表】
10時20分～12時35分　団体環境表彰・学校園環境表彰・緑のカーテンコンテスト表彰

【シンポジウム】
13時35分～14時35分　基調講演　植田和弘氏
（京都大学大学院経済学研究科および同地球環境学堂教授）
14時55分～16時30分　パネルディスカッション
コーディネーター　植田和弘氏
パネリスト　小原寿三氏（香里園協和会会長）
西田乙美氏（枚方ハイツボランティア部代表）
平野昌雄氏（長尾まち美化委員会委員長）
宮脇初恵氏（西牧野ＥＭ野菜づくりグループ代表）

【ブース展示・パネル展示】　※体験コーナーあり
終日（10時00分～17時00分）

シンポジウム参加者に「廃食油から作った手づくりエコ石けん」プレゼント♪
（竹炭、柿しぶ、米ぬか等）

公共交通部会の活動

★レンタサイクル試行：牧野で行っている、レンタサイクル試行事業は、11月13日で、第Ⅱ期を終了しました。利用者も前年比約２割アップとなり、順調に推移しています。この事業は、市民の交通利便性の向上、マイカーからの転換による環境対策、リサイクル車利用による環境対策、放置自転車の削減を目的としており、当面2009年3月末まではこの体制を続け、4月以降は運営主体を(社)枚方市シルバー人材センターに移行し、試行を続けることになりました。ひらかた環境ネットワーク会議としては、団体会員の枚方エコサイクルさんの協力を得て、自転車のリース、点検整備を行うことになります。

★バスのってスタンプラリー：10月25日「枚方東部：穂谷を満喫」に引き続き、平成21年4月11日に今度は枚方南部と交野市にかけて、桜をテーマに企画しています。企画から参加していただける方募集中です。

★くずは駅前広場利活用ワークショップ：1ページに掲載

環境教育サポート部会の活動

今年度の「まち歩き」のテーマは『景観を考える』

1月24日（土）と2月14日（土）、枚二小校区で「まち歩き」を行います。この事業は、地域活性化推進事業（文科省の委託事業）で、昨年度に続き２回目となります。今年度のテーマは「景観を考える」。２日間のうち、半日は「まち歩き」をしながら数ヶ所のポイントで高度計による高度測定・記録したり、気に入った景色、気になる景色などを写真に撮ったりします。あとは、市民会館と枚二小学校で校区の立体地図模型をつくったり、自分の撮った写真の場所を皆で当てあいっこしたり、自分がその場所を選んだ理由を発表します。立体地図模型づくりには、大阪産業大学のフランス人留学生・エリックさんが協力してくれており、楽しい地図づくりになるものと思われます。なお参加予定人員は、小学生が16名、保護者や先生、コミュニティ協議会や環境教育サポート部会のメンバーなど大人が20人。

運営委員会の活動

第３回団体交流会を開催しました

平成20年12月11日（木）午後２時よりサプリ村野において、今年度３回目となる団体交流会を開催しました。交流会では、丸井副理事長の進行により、「ひらかた１日エコチャレンジ（仮称）」（平成21年度にひらかた環境ネットワーク会議で企画し、枚方市に提案して進める予定）について考えました。参加された団体会員の皆様にご協力いただき、皆でこの企画を盛り立てていこうと、来年度に向け決意を新たにしました。

お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。
☎072・847・2286

「ウォームビズ」してますか？

地球にも家計にもやさしい「ウォームビズ」。

「ウォームビズ」は、**暖房時の室温を20℃**にすることで、エネルギー使用量を削減し、CO2発生を削減することを目的としています。

(財)省エネルギーセンターの調査によると、暖房を23℃以上に設定している企業が約50%もあり、暖房温度の適正化は省エネの余地が多い取り組みです。冬季の暖房時、オフィスの室温を23℃から20℃にすることで、主な暖房設備の消費エネルギーは約2割削減でき、大きなCO2削減効果があるといえます。

皆で呼びかけあって、さぁ始めませんか！

「環境のへぇ～」 Vol.18

『 排出枠価格が下落中 』

世界的な金融危機の影響によって、温室効果ガスの排出枠の価格が下落しています。

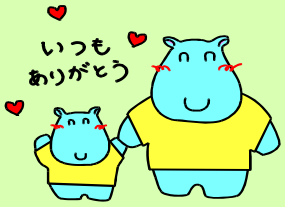
市場での資金調達が困難になった企業が、資産の現金化を進め、資産である排出枠を売却していること、製造業の生産量が減少し、エネルギー消費量・CO2排出量が減少していることなどが背景にあります。

温室効果ガスの排出量の削減が進んでいない、排出枠の購入を考えている日本にとっては朗報かもしれませんが、一方で、費用対効果が低いCDM事業への投資が抑制され、排出枠そのものが確保できなくなる可能性もあります。

景気の影響も注意して見守って行く必要がありそうです。

＜３０秒で読む環境情報！＞

平成21年度から会員の年会費が変更になります。



平成20年6月に開催しました通常総会において、平成21年度からの年会費が改定されました。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

改定後の年会費は下記の通りです。

◆正会員……当団体の活動に積極的に携わってくださる個人および団体

個人	年会費	3,000円
非営利団体	年会費	3,000円
営利団体	年会費	10,000円

◆賛助会員‥‥財政面等で援助してくださる個人および団体（総会での議決権なし）

個人	年会費	3,000円
非営利団体	年会費	3,000円
営利団体	年会費	10,000円

※現在会員の方には、当会報誌「環境ひらかた」4月号（4月上旬発行予定）に振込用紙を同封させていただきますので、そちらをご利用ください。

会員数 209名：正会員　175名（個人145、非営利団体18、営利団体12）
賛助会員 34名（個人 34、非営利団体 0、営利団体 0）※平成20年12月31日現在

団体紹介コーナー

ネッツトヨタ新大阪(株)

設　立：1979年10月（昭和54年）
代表者：久保　行央
社員数：231名

事業活動を通じて地球環境の保全に努める

■環境保全に対する取り組み

◎社内の環境委員会をいち早く組織

事業に係わるあらゆる環境保全活動と節約（ガス・水道・電気）、リサイクル、リユースに取り組み省資源化に努めています。

◎全店舗周辺の道路（歩道、溝、植栽）の清掃活動を実施

月１回、原則毎月第２土曜日の朝７時半から全社員で取り組んでいます（アドプト、アダプト、ボランティアサポートプログラムに参加）。

月１回の清掃活動「奉仕デー」の様子

◎お客さま駐車場の緑化（緑化パーキング）推進

５店舗22スペースに設置を済ませました。

＜代表者のコメント＞

～ 環境保全と地域貢献に積極的姿勢で ～

私たちは、車を通して「豊かな低炭素社会」の実現へと取り組むトヨタ自動車とスクラムを組み、販売店として貢献できる環境保全活動や社会貢献活動に積極的に取り組むことで、地域社会の発展に寄与できるよう、役割を果たしていきます。

■地域社会に対する取り組み

◎青色パトロールカー３台を枚方市に寄贈

「地域の安心安全なまちづくりに協力出来たら」と自社のターセル３台を、弊社にて白と黒のツートンカラーに塗装し、屋根に青色回転灯を装着し寄贈しました。地域の防犯活動に活用していただいています。

出発式のテープカット

◎全店舗を「こども１１０番」の店として登録

◎警察署の協力による社内向け交通安全講習会の実施

◎枚方市職員「民間企業派遣研修」の受け入れ

◎学生向け「インターンシップ」の受け入れ（ひらかたＪｏｂハンター）など

編集後記

ひらかた環境ネットワーク会議もこの2月で設立から丸５年を迎えます。市民の税金を補助金という形で受けている団体としては、いよいよ成果が問われる段階になったのではと感じています。実際、来期以降は補助金の見直しが予定されており、厳しい状況の中で活動を行っていくことになるでしょう。その一方で、５年間も活動を続けてこられたのは、会員一人ひとりの「枚方の環境を良くしたい」という熱意があったからです。厳しい状況だからこそ、その熱意を大切にし、会員が気持ち良く活動を続けていけるような運営を目指していければと思っています。（鍛治谷　記）

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第20号

平成21年1月1日発行（年4回発行）
発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議
〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号
サプリ村野内（旧村野小学校）
電　話　072-847-2286
ＦＡＸ　072-847-2286
Ｅメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net
ホームページ http://www.hirakata-kankyou.net
発行責任者：谷﨑 利男
編集責任者：廣田 武司
この会報誌は古紙再生紙・ソイインクを使用しています。